



各 位

2021年12月6日

会社名 株式会社 精工技研
代表者名 代表取締役社長 上野 昌利
(コード番号 6834 東証 JASDAQ)
問合せ先 執行役員管理部長 斎藤 祐司
(TEL. 047 - 388 - 6401)

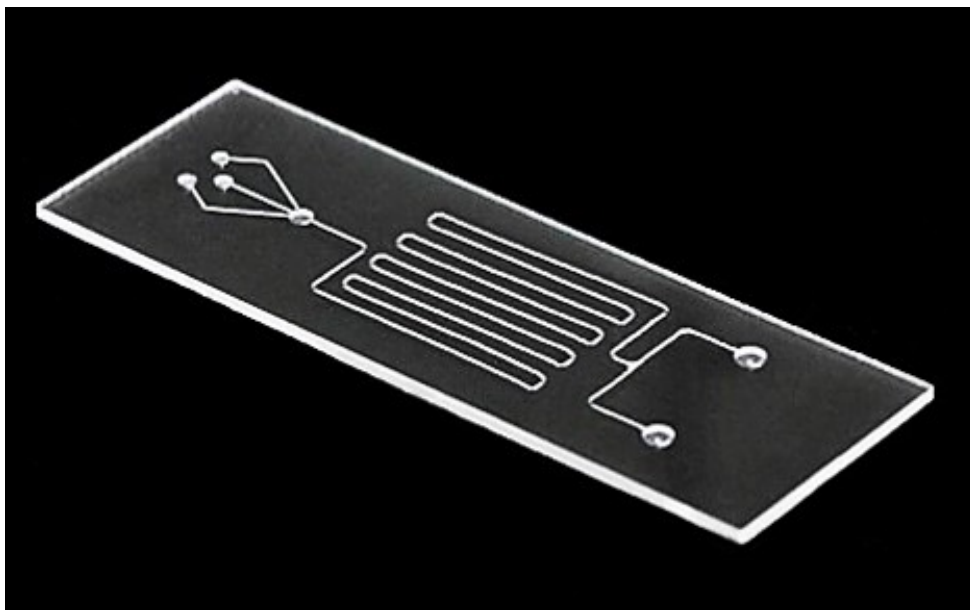
医療用マイクロ流路デバイス量産開始のお知らせ

当社ではこのほど、医療用のマイクロ流路デバイスの製造ラインを確立し、量産を開始しましたのでお知らせします。

当社はこれまで、CD や DVD 等の光ディスクを量産するための金型を開発し、世界の光ディスクメーカーに提供してまいりました。光ディスクの内側には、情報を記録するための「ピット」と呼ばれる数マイクロメートル(マイクロは100万分の1)のくぼみが無数に並んでいます。微細な「ピット」を光ディスクの1枚1枚に正確に写し取りながら、2秒から3秒のサイクルで量産成形するには、高度な金型技術が不可欠です。

当社は世界トップシェアを誇る光ディスク成形用金型の開発で培った業界最高水準の精密金型技術を転用し、千葉県松戸市内の当社第4工場クリーンルーム内に、新たに樹脂製の医療用マイクロ流路デバイスの量産ラインを立ち上げました。

医療用マイクロ流路デバイスは、その表面に、検体と試薬の混合液を流す微細な流路が施されており、現在はガラス製が主流となっています。当社は金型技術と精密成形技術を活用し、ガラスに比べて大量生産が可能な、樹脂製のマイクロ流路デバイスを量産することに成功しました。デバイスの表面には幅と深さが10マイクロメートル以下の微細な流路を形成し、成形からフィルムの接合まで、クリーンルーム内で一貫して自動生産を行います。今後は、順次製造ラインを増設し、2024年3月期までには月産数10万枚レベルまで増産する計画です。マイクロ流路デバイスは様々な検査に使用することが可能で、生活習慣病をはじめインフルエンザの診断等での検査や、現在需要が拡大している新型コロナウイルスのPCR検査等の用途も見込んでいます。当初は主に医療機器メーカーやバイオ関連メーカー向けに提供していく予定で、将来的には海外展開も検討しております。



◆ 「医療用マイクロ流路デバイス」

製品のお問い合わせはこちら

精機事業部 営業課

TEL : 047-386-3111

以 上